

第114期 中間期 事業のご報告

2025年4月1日～2025年9月30日



株主の皆さまへ

第114期(2026年3月期)中間期の事業の概況および決算の内容についてご報告申し上げます。

■当中間期の概要と当社グループの主な取り組み

当中間期の国際的な経済情勢を見ますと、米国による関税措置については欧州をはじめ多くの国で税率の合意がなされたものの、中国など一部の国では交渉が継続となったことから、世界的な貿易環境の回復には至らず、各国の経済活動は総じて低調に推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、開発面では、ハイパワー・高耐久の「40Vmaxリチウムイオンバッテリー」(XGT)シリーズの電動工具・園芸用機器をはじめとした充電製品のラインアップ拡充に注力しました。

生産面では、生産工程の技術革新、受注管理システムの改善を行うことにより、地政学リスクや変化する需要環境に柔軟に対応できる体制づくりに努めました。

営業面では、地域密着・顧客密着のサービス体制のレベルアップに注力し、世界各地のお客さまとの信頼関係のさらなる強化に努めるとともに、XGTシリーズを軸に市場の深耕・開拓に取り組みました。



取締役社長
後藤 宗利

■2期ぶりの減収も、親会社の所有者に帰属する中間利益は過去最高を更新

当中間期の当社グループの連結業績は、依然として各国での金利水準が高く、これによる住宅需要の低迷および建設・建築市場への投資抑制に加えて、米国の関税措置による市場混乱の影響により、売上収益は前年同期比2.1%減の378,421百万円となりました。利益面においては、為替の影響およびコストダウンにより原価率が改善したことから、営業利益は前年同期比0.2%増の51,495百万円(営業利益率13.6%)となりました。税引前中間利益は前年同期比3.1%増の52,901百万円(税引前中間利益率14.0%)、親会社の所有者に帰属する中間利益は1.6%増の38,800百万円(親会社の所有者に帰属する中間利益率10.3%)となりました。

■中間配当金は1株につき20円

当社は、年間配当金20円を下限とし、連結配当性向35%以上とすることを利益配分の基本方針としています。当期の中間配当金につきましては、1株につき20円とさせていただきます。期末配当金につきましては、当期の業績が確定する来年4月下旬開催の取締役会において、上記の配当方針に従って配当額を決定し、株主総会において皆さまにご審議いただく予定でございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年11月

40Vmaxシリーズをドアオープナーとして世界のプロユーザーへの展開を図る

当社は、軽量・コンパクトな10.8V(CXT)、ミドルレンジである18V(LXT)、ハイパワー・高容量な40Vmax(XGT)など、それぞれの電圧で豊富な製品ラインアップを取りそろえており、1つのバッテリーで数多くの製品を使用できることが強みとなっています。近年特に当社が注力しているのは、プロによるハードな重作業を念頭に置いて開発した40Vmaxシリーズの展開です。



40Vmaxシリーズの特長

40Vmaxシリーズは、高電圧化によりハイパワーな作業を可能とするバッテリーです。加えて、①当社独自の「スマートシステム」搭載による、高負荷時の連続作業時間の向上・バッテリーの長寿命化、②優れた耐落下・衝撃性能を有した設計による故障の抑制、③バッテリー単体でIP56(防じん・防水保護等級)に対応した防水・防じん性能を特長とし、屋外での作業やプロによる重作業を可能にします。



今後の成長戦略

①重負荷作業への40Vmaxシリーズ導入によるソリューション提供

プロユーザーのハードな作業において、従来はエンジン製品、エア製品、電源コード付製品が主に使用されてきましたが、これらの製品は以下のような不便さがありました。

- ・エンジン製品は振動・騒音が大きく、排気ガスが出るので屋内や密閉された空間では使えない
- ・エンジン製品は給油やメンテナンスが手間
- ・エア製品はエアコンプレッサの持ち込みが大変、ホースも邪魔
- ・電源コード付製品は電源の確保が手間、作業者がコードにつまづくなど事故の危険がある

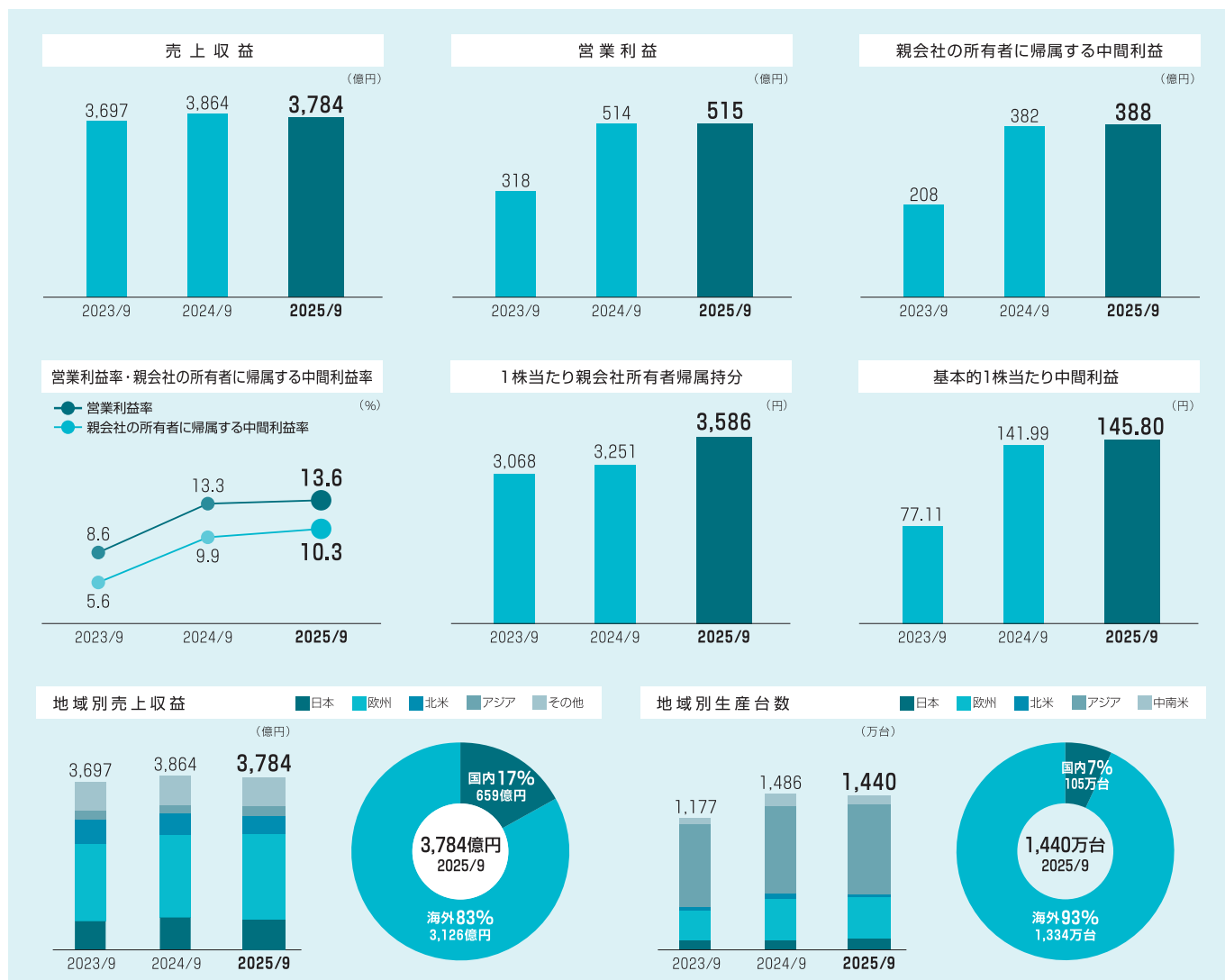
40Vmaxシリーズは、充電式でありながらパワーや持続時間に優れ、従来の充電製品にはできなかった重負荷作業をこなすことが可能です。エンジン製品等がメインで使用されていた作業に、40Vmaxシリーズを導入することで、今までと同等の作業感でありながら多くのプロユーザーのさまざまな“不便さ”を解消します。

②豊富な製品ラインアップによる周辺作業の充電化

40Vmaxシリーズをお使いいただくことで、あらゆる作業でマキタの充電製品を試していただけるようになります。例えば、メインの破碎作業に40Vmaxシリーズの充電式ハンマを一度導入いただければ、同じバッテリーを使用して、重機のメンテナンス作業に必要なインパクトレンチ、現場を照らすフラッシュライトなどを使用することができ、お客さまの周辺作業がマキタ製品で一気に充電化されます。これは豊富なラインアップを有する当社ならではの強みです。このように、当社は常にお客さまのお困りごとを解決するためのソリューションを提供していくことを通じて成長を目指します。



主な経営指標(IFRS)



	2023年9月中間期	2024年9月中間期	2025年9月中間期	増減率(%)	2025年3月期通期
売上収益	369,667	386,443	378,421	△ 2.1	753,130
営業利益	31,760	51,415	51,495	0.2	107,038
営業利益率	8.6%	13.3%	13.6%	—	14.2%
税引前利益	30,036	51,323	52,901	3.1	108,477
親会社の所有者に帰属する中間利益	20,816	38,200	38,800	1.6	79,338
親会社の所有者に帰属する中間利益率	5.6%	9.9%	10.3%	—	10.5%
資本合計	832,203	881,560	955,236	8.4	932,495
資産合計	1,035,051	1,046,951	1,130,052	7.9	1,106,525
親会社所有者帰属持分比率	79.7%	83.5%	83.9%	—	83.7%
設備投資額	11,010	9,625	11,228	16.7	17,594
減価償却費	12,337	12,701	12,332	△ 2.9	24,934
研究開発費	7,274	7,438	8,065	8.4	15,115
従業員数(人)	18,019	17,591	17,662	0.4	17,641
基本的1株当たり中間利益(円)	77.11	141.99	145.80	2.7	294.90
1株当たり配当金(円)	10.0	20.0	20.0	—	110.0

(注) 上記およびこの報告書に記載している金額は原則として百万円未満を四捨五入して表示しています。

ホームページのご案内

マキタ 検索

<https://www.makita.co.jp/>

当社ホームページでは、業績の推移、決算情報、プレスリリースのほか、決算発表日などの情報をタイムリーに提供しています。

- ▶ 会社概要 <https://www.makita.co.jp/company/>
- ▶ 株主の状況 https://www.makita.co.jp/ir/stock_bond/stock_bond_04.html
- ▶ 株式事務手続きのご案内 https://www.makita.co.jp/ir/stock_bond/stock_bond_05.html